平成２７年度　だての郷事業報告

１．概　要

当法人の基本方針や理念に基づき、利用者の個性や人格を尊重し、個々の特性に応じた支援に努め処遇の充実を図ってきた。

知的障害をもつ利用者の日中活動の場として、豊かで活力ある生活ができるような支援に努めるとともに、障害の重い利用者の現状を踏まえて、支援体制の充実を図り、保護者や家族との個別面談等により家庭との密接な連絡や信頼関係の構築を図ってきた。

また、各市町村や医療機関、福祉関係機関との連携を強化する等、利用者の安全を最優先にした支援体制の充実に努めてきた。

９月からは、毎月１回の土曜営業日を設け毎回２０人前後の利用者があり、保護者の負担軽減を図った。

さらに、地域支援事業として平日夕方の延長預かりや休日の支援等、利用者や家族の要望に応じた福祉サービスにも積極的に取り組み、生活介護事業所としての事業の定着を図った。

２．利用者の状況

利用者数　　男　２２名　　　　女　８名　　　　合計３０名

「利用者の地域別状況」（28.3.31現在）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 性別 | 福島市 | 伊達市 | 国見町 | 桑折町 | 合計 |
| 男 | ４ | １３ | ２ | ３ | ２２ |
| 女 | １ | ３ | １ | ３ | ８ |
| 合計 | ５ | １６ | ３ | ６ | ３０ |

「利用者の年齢別・性別状況」

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | ２０歳未満 | ２０～２９歳 | | ３０～３９歳 | ４０～４９歳 | 平均年齢 |
| 男 | ０ | ５ | | １４ | ３ | ３４．２歳 |
| 女 | ０ | １ | | ６ | １ | ３５．２歳 |
| 計 | ０ | | ６ | ２０ | ４ | ３４．５歳 |
|  |  | |  |  |  |  |

「利用者・障害別状況」(重複障害を含)

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 療育手帳 | 自閉症 | 自閉的傾向 | ダウン症 | てんかん | 身障手帳 |
|
| 男 | ２２ | １３ | ２ | ３ | ５ | ０ |
| 女 | ８ | １ | ０ | ０ | ４ | １ |
| 計 | ３０ | １４ | ２ | ３ | ９ | １ |

３．職員の状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 職名 | 施設長 | 次長 | 支援員 | 事務員 | 看護師 | 嘱託医 | シルバー職員 | 計 |
| 人員 | １ | １ | ５ | １ | １ | １ | ２ | １２ |

４．主なる事業の実施状況

　（1）生活介護事業（援助活動）の実施状況

　　　　日常生活や社会生活の適応性を高めるとともに、個々の特性に応じた支援に心がけ人権や人格を尊重した豊かな活力ある生活ができるような処遇に努めるとともに、作業等を通して機能訓練等の向上や労働の大切さを知り、社会性や豊かな人間性の醸成を図ってきた。

　（2）地域生活支援事業の実施

　　　　地域の福祉サービスとしては、平日夕方の預かり延長や、休日を含めた事業活動を展開してきたが余暇活動の一環としての移動支援事業については１件の利用と少なく次年度の課題となりました。

利用者サービスの質の向上を図り、障害を持つ人たちの豊かな生活作りの援助者としての役割を担ってきました。

「日中一時支援事業」

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ | ９ | 10 | 11 | 12 | １ | ２ | ３ | 計 |
| 延日数 | 127 | 113 | 133 | 138 | 112 | 123 | 129 | 120 | 117 | 128 | 129 | 132 | 1,501 |

「移動支援事業」　　　利用者人数　　１人

（3）健康・安全

　　年２回の内科検診と年１回の定期健康診断の実施、日々の手洗い消毒、冬季間のうがいの実施等、健康管理と衛生管理への関心を高め、看護師等の指導を受ける等、予防対策を徹底することに努めてきた。

また、生活・作業環境の整備や安全点検の実施、危険箇所の明示等、施設内の安全管理を徹底し、月１回の火災・地震を想定した避難訓練の実施、洪水への対応等、日常起こりうる災害への訓練を実施した。さらに、日常的な健康面への支援として毎日の歩行訓練の実施や体重、体脂肪測定に基づく健康管理のチェック等により家庭と施設が連携して健康管理に努めた。

（4）研修

年間の研修計画に基づき、職員の経験年数や役職別の各種研修会へ参加や各福祉団体による勉強会や研修会等にも参加してきた。

また、所内研修による支援内容や質の向上のためのケース会議や処遇会議等の検討会を毎月行なうとともに、職員の各種資格取得等のための研修の奨励を行なってきた。

（5）「利用者の出勤状況」　　　　　　定員３０名(利用登録者３０名)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ４ | ５ | ６ | 7 | 8 | 9 | １０ | １１ | １２ | １ | ２ | ３ | 計 |
| 出勤日 | 21 | 19 | 22 | 22 | 19 | 20 | 22 | 20 | 20 | 20 | 21 | 23 | 249日 |
| 延人数 | 612 | 526 | 632 | 637 | 552 | 576 | 636 | 565 | 571 | 559 | 605 | 632 | ７,097人 |
| 出勤率 | 97.1 | 92.3 | 95.8 | 96.5 | 96.8 | 96.0 | 96.4 | 94.2 | 95.2 | 93.2 | 96.0 | 91.6 | 95.0％. |

５．平成２７年度実施の主な行事

|  |  |
| --- | --- |
| 月 | 主　た　る　実　施　行　事 |
| ４月 | ２４日　親子遠足　（バスで七ヶ宿、白石方面） |
| ５月 | １７日　福島県障がい者総合体育大会　（田村市船引） |
| ６月 | １日　保原スポーツ民謡桃里会との交流会 |
|  | １２日　春の研修旅行　（新潟マリンピアほか） |
| ８月 | ４日　ポップサーカス観覧　（郡山市） |
| ９月 | ２５日　交通安全教室（伊達警察署）  ２６日　社会体験会　（福島西工業団地・あづま運動公園） |
| １０月 | ２日　秋の歩こう会＆芋煮会　（68名参加）  ２５日　あぶくま祭り　（ダンス発表、来場者約200名） |
| １１月 | ３０日　定期健康診断　（血圧、内診、レントゲンほか） |
| １２月 | ２２日　クリスマス会  ２８日　忘年会 |
| １月 | １５日　新年と成人を祝う会　（成人該当者１名） |
| ２月 | ３日　節分行事、豆まき「すし竹」さんから寿司提供  ２２日～２６日　外食体験会（班ごとに実施・梁川すずらん） |
| ３月 | １７日　嘱託医師健康診断（内科）  １５日　保護者勉強会（福島市おおぞらの夢ほか関連事業所） |
| 毎月 | 避難訓練、ダンス教室、環境整備点検、ミニドライブ（月２回） |
| 保護者会行事 | ７月２６日　早朝除草奉仕活動、 |